

## 2025 年度 第 2 回 獣医腫瘍科認定医認定委員会

開催日時：2026 年 4 月 13 日（月）20:00~

ミーティング URL：

<https://us06web.zoom.us/j/89634247121?pwd=oaFMS6tsb77XX1oeS97mbs9XRbWlO.1>

参加者予定者（敬称略）：皆上、杉山、古川、保坂、高梨、竹村、塚田、五十嵐、井上、村上、小山田、今井、伊藤秀、齋藤、諏訪、高橋雅、中川、田川、細谷、野口（合計 20 名）

書記：伊藤秀

### 報告事項

#### 1. 2026 年度認定試験の準備状況報告

##### ① 2 種試験（古川）

- 問題の提出状況は例年に比べて良好。以後、2 種担当委員で精選し（対面あるいはオンライン）、学識経験者委員による査読を経て委員長の査読を行う予定。

##### ② 1 種 1 次試験

- 堀先生欠席のため、委員長より報告。1 種 1 次試験に関しては問題数も少ないため、少し時間的余裕はある。次回委員会で報告。

##### ③ 1 種 2 次試験（小山田）

- 面接担当の学識経験者委員を選定中であり、2 名は内定している。会長、副会長、米国専門医にはぜひ協力をお願いしたい。問題作成は面接官決定後に行う。

#### 2. 認定医講習会の準備状況報告

- 7 月学会の担当講師は決まっており、内諾も得られている。（塚田）
- 認定医講習の各部屋における司会を再び任命する予定。1 種認定医を中心とし、足りなければ 2 種認定医の先生にもお願いすると思うので、ご協力を願いたい。（皆上）
- 理事会において学会の準備期間についてお願いがあった。余裕を持って講師依頼を行うため、認定医講習についても 7 月学会までに翌年 1 月の講師決定、1 月学会までに 7 月の講師決定が求められている。（古川）
- 認定医講習については、現状でも予め 2 年先まで講師に内諾を頂いているが、治療学総論と診断学総論については会長より『大御所の先生』をお願いするよう依頼があった。その定義が不明であるため、講師選定に悩んでいる。（塚田）
- 既に依頼済みの講師については変更の必要はない。大御所の定義は会長に確認することとし、現在決まっている講師以降は、会長の希望にできるだけ沿うように人選してほしい。（皆上）

## 審議事項

### 3. 2026年度認定試験の合格基準（案）について（皆上）

#### ① 2種試験

平均点+1SD以上で合格（昨年度までの正答必須問題は廃止）

→賛成多数で採用

#### ② 1種1次試験

6題（診断学3題、治療学3題）全てで平均点以上得点、かつ正答必須問題を全て正答で合格（昨年と変更なし）

→賛成多数で採用

#### ③ 1種2次試験

平均点+1SD以上、かつ全ての試験室で平均点以上、かつ正答必須問題不正解1問以下、かつ全面接官による審議で過半数以上（5/8以上）の賛同が得られれば合格（昨年と変更なし）

→賛成多数で採用

### 4. 2027年度認定医試験における2種認定医の受験資格変更について（皆上）

- 以前より、学生のうちに受講印を全て集めた者が卒業すぐに受験できることが課題として挙げられている。2027年度より実施予定のVNCA認定試験では臨床経験3年以上（ただし、認定医の在籍する施設では臨床経験2年以上）となっているため、2種認定医でも条件を揃えることにしたい。ただし、会員数を確保する意味で獣医学学生の認定医講習会の受講と受講印の押印は認めることにしたい。

#### 審議内容

- 専門医もしくは認定医の在籍する施設とは2種認定医も含むか。（古川）  
→VNCA認定試験では2種認定医在籍施設でも可としている。（小山田）
- 在籍する認定医は1種のみで差別化するのか。学識経験者を含めるのか。（古川）  
→学識経験者委員の所属する施設は考えていなかった。（皆上）
- 認定医が在籍する組織のみは不公平では。学生が3年待つのは長すぎるのではないか。皆一律で2年でいいのでは。（細谷）  
→臨床経験3年という基準はVNCA認定試験に合わせるべきと考えている。（皆上）
- 受験資格にケースログの提出を義務付けるのも案だと思うが、チェックの手数が必要でありなかなか難しい。（高橋）
- 卒業直後に2種をすぐに取得する弊害は？認定医は知識のみあれば良いのではないか？（野口、細谷）  
→様々な先生より臨床経験がない者が卒業すぐに認定医を名乗ることについて意

見が寄せられている。(皆上)

- 口頭試問など臨床経験を問うなども一案と考えられる。(野口)
- 施設に所属する認定医は誰でもいいのか？在籍についてはどう確認するのか？(細谷)
- 所属する施設の認定医にサインをもらうシステムになる予定である。(皆上)
- 認定医が所属する施設では、獣医師や愛玩動物看護師が集まりやすくなるメリットがある。2種を含めれば認定医は500名近くいるので不公平感はなくなるかもしれない。(皆上)
- 臨床経験3年以上にすると、制度移行中に受験できない者の救済制度も必要。(田川)  
→ある程度の移行処置も考える予定(皆上)
- 臨床経験の設定があるほうが良い。(村上)
- ある程度の経験が必要。施設により変えるのは不公平かもしれない。臨床経験は2年でも3年でもいい。(保坂)
- 臨床経験は必要。(古川)
- 臨床経験は必要。飼い主にとっても必要。(伊藤秀)
- 臨床経験は必要。実際に化学療法やったことない人が2種をとることはいかなものか。(小山田)
- 試験は受けられるが、登録に臨床経験が必要な制度はどうか。(塚田)  
→それは事務的に煩雑である。(皆上)
- 自分は2年目で取得したが、1年目ではなかなか難しい。経験を積むのも大切であるが、あまり長くするのもよくない。1種と2種の違いが分かりにくい。(五十嵐)
- →将来的には認定医の名称を変える必要がある。(皆上)
- 臨床経験はあったほうが良い。施設の違いはない方がいい。飼い主的には2種も1種も変わらない。2種の取得が早すぎると弊害出る。(諏訪)
- 臨床経験はあったほうが良い。(齋藤)
- 臨床経験2年以上が平等性としていい。(高梨)
- やる気のある新卒にとって2年と3年の差は大きい。早く受けさせてあげたいが、実経験が問われる問題を試験に組み込むことも考えてはどうか。(竹村)
- 2種をどういうものにするのか。今後2種認定医をさらに分けるのはどうか。(中川)
- 麻酔外科学会はどのような制度にしているか？(皆上)  
→学会の会員歴を要件にしている。今回の案の臨床歴はがん学会の在籍歴なのか。(細谷)
- 案では在籍歴ではなく臨床歴としている。(皆上)

- 臨床歴の設定ではなく、学生の押印を認めなければ良いのでは？（野口）  
→学生に学会に参加してほしいので、できれば学生の押印は続けたい。（皆上）
- →では、実際の学生会員の参加人数はどれほどか。（古川）
- →正確には把握してないが、20人は認定医講習会参加していると思う。（皆上）
- →学生押印なければ1年以降の取得になる。臨床経験も勤務する動物病院により差がある。何年というのは難しい。（野口）
- →最短取得で1年半とすると、留置などの基本手技もあやしいので2～3年が妥当なのでは？（皆上）

以上、活発な議論が行われたが、意見を総合すると「正会員歴2年以上で施設の条件なし」が適当と考えられた。執行部においても検討し、次回の委員会で再提案する。VNCA認定試験と条件が違っていいと考えている。（皆上）

5. 学会開催期間における交通機関遅延・運休の影響により来場困難となった場合の認定医の出席あるいは認定医講習受講者へのオンライン受講対応等の特別対応について
- 対象者のおおよそ30%以上が出席できないなどの影響を受けた場合、学会開催後に臨時認定委員会を開催し特別対応について決定することを提案する。（皆上）

意見

- オンライン受講での視聴確認が大変なのではないか。（五十嵐）  
→今後、配信会社が変わるので確認が厳しい。もしやるならレポートを提出するのを考えている。（皆上）
- 学会参加費の返金も行うのか？（高橋）  
→参加費の返金規定ではない。認定医の出席あるいは認定医講習受講者へのオンライン受講対応等の特別対応。
- 遅延も含めるのか？（古川）  
→基本的に運休のみと考えている。（皆上）

以上、活発な議論を行なった結果、学会開催期間における交通機関運休の影響により来場困難となった場合の認定医の出席あるいは認定医講習受講者へのオンライン受講対応等の特別対応については、『対象者のおおよそ30%以上が出席できないなどの影響を受けた場合、学会開催後に臨時認定委員会を開催し特別対応について協議する』こととした。また、対象者のおおよそ30%未満しか影響を受けない地域限定の交通機関運休については考慮しないこととする。

## 6. 追加報告

- ① 症例登録システムについて（臨床研究委員会 中川委員長）
- 症例登録システムのβ版が完成する予定。認定医に7月くらいから半年程度、試

しに登録して、操作性などを見てほしい。後々は、それぞれに認定医の更新要件や、今後2種の新しい分類などに使えるのかもしれない。協力をお願いしたい。

- 認定医委員会としては更新条件の一つの選択肢として組み入れる議論をしていきたい。(皆上)
- 症例登録システムには、病院や会社の承認が必要。取り決めの文書が必要になるのでは。(古川)  
→弁護士と相談し、書面は準備している。(中川)

## 7. 今後の予定

- ① ~~2026年4月13日(月) 20:00～定例認定委員会開催(今年度の合格基準確認)~~
- ② 2026年6月29日(月) 20:00～ 定例認定委員会開催(学会前)
- ③ 2026年7月4日(土) 認定講習会
- ④ 2026年9月28日(月) 20:00～定例認定委員会開催(準備状況確認)
- ⑤ 2026年10月4日(日) 認定試験(新宿ベルサールグラウンド)